北海道標茶高等学校

生徒数　１８４名

学級数　　６学級

職員数　　３７名

校長　津　嶋　拓　慈

ー　地域の教育力を活かした生徒の主体性を育む学校経営　ー

本校では、ふるさとの風土や「いのち」をめぐる体験に学び、たくましく豊かに生き抜く力を身に付け、人や地域をつなぎながら共に支え合い、社会の発展に貢献する人間の育成に取り組んでいる。

特に高等学校 OPEN プロジェクト指定校を受けたことにより、標茶町や標茶町商工会、ＪＡと連携協定を結び、「地域みらい連携会議」の開催や「しべパフェ」の開発、普及等の探究活動で大きな成果を上げている。

ー　地域をフィールドとした課題探究活動　ー

生徒の興味・関心と地域のニーズに応じたテーマを設定し、全ての生徒が課題探究活動に取り組んでおり、地域の特色を生かし、関係団体と連携した活動を実施することで地域に貢献するとともに、進路実現に結び付けようと努めている。

特に、地域環境ゼミガイド班では、ＪＲ北海道と連携したＳＬ内でのガイド活動や、敷地内ミニ湿原ガイドツアーを実施するなど、学校全体で各種地域事業の推進に成果を上げている。

ー　探究・飛躍・共生　を目標とした３系列の特色ある教育活動　ー

授業、特別活動、探究活動を通して、三位一体となった教育活動を実践し、文化理解、地域環境、酪農・食品の３系列で教育目標の具現化に取り組んでいる。

特に、酪農・食品系列では製作した肉加工品や乳加工品、文化理解系列では標茶町の新グッズを開発しＳＬ運行時に販売するなど、販売実習や課題探究成果の交流及び発表を通して、地域社会との結び付きと生徒の探究力、飛躍力、共生力の向上に大きな成果を上げている。

ー　地域に根付いた教育活動　ー

本校は、平成 27 年に３系列の総合学科となってからも、多くの地域の方々が授業等で講師や協働者として生徒に関わってくれています。生徒は、このような地域の方々と直接関わりを持つことで、地域の課題を共有し、課題探究で調査・研究を行い、課題解決に努めています。このような教育活動は、郷土愛を育み、地域に貢献する有為な人材の育成に成果が上がっていることから、今後も継続していただきたいと思います。　　（保護者の声）